

兵庫県立高校の来春の一般入試

出題範囲は“例年通り”に決定！

「入試範囲、終えられるのか？」

兵庫県教育委員会は8日、来春の公立高校一般入試について、長期休校したにもかかわらず、出題範囲は例年通りで、日程も変更しないと発表しました。

公立高校の入試については東京や大阪は出題範囲を縮小し、すでに縮小された内容も6月に発表していますが、兵庫県は発表が1カ月も遅いうえに、出題範囲が例年通りとは驚きの一言です。

「なんで去年と一緒にやろう…」が正直なところです。

中学校では、4・5月の臨時休校で約200時間もの授業時間を失いました。これを補うには、授業の進度を相当スピードアップしないと失った時間を取り戻すことはできません。

中3の生徒にとって、「受験範囲を学び終えられるのか」心配だと思います。じっくりやれば受験の範囲は終わりそうにありません。しかし、授業の進度が速ければ、理解が浅く、ついていくのが精いっぱいです。

県教委は夏休みの短縮や学校行事の見直しで、この間の遅れは取り戻せると言っているのですが、果たしてそうでしょうか？出題範囲を縮小した他の府県も兵庫県と同様に夏休みを短縮し、学校行事も見直しているのです。

文部科学省は受験生が不利にならないように、出題の範囲や方法を必要に応じて工夫するように通知しているというのに、これはどうしたことでしょうか。



エクシードでは、このような事態に対応するため、

夏期特別強化授業(夏期講習)をより充実させ、まず1学期の学習内容の徹底演習を行います。

次に①エディプラス(映像授業)で再学習②ZOOM・LINEで質問を受け付ける③通常授業のより一層の充実を図ります。

学校とは違う塾の特性を生かして、皆さんの心配を『自信』にかえる夏休みにしたいと考えております。

◎2021年度兵庫県公立高校入試日程

【推薦・特色推薦入試】

願書受付 21.2/3 ~ 2/5
試験日 2/16
合格発表 2/21

【一般入試】

願書受付 21.2/24 ~ 2/26
志願変更 3/1 ~ 3
試験日 3/12
合格発表 3/19

■中総体の代替大会「スポーツ交流会」

加古川市 8/1 ~ 3
高砂市 8/1 ~ 10

3年生対象で、人数不足は2年生で補う

観戦は3年生と保護者のみ

予備日は設けない

加古川市は雨天順延なし

高砂市は雨天順延

『高校受験土曜特別講座』開講のお知らせ

エクシードでは、9月より「公立高校入試対策土曜特別講座」を開講します。通常授業では、学校の進度と並行して授業を行います。土曜特訓講座では、高校入試対策の授業を行います。

特に私立高校や公立高校の入試に出題頻度の高い単元を集中的に学習し、入試への確かな学力をつけることを目的としております。ただ、定期テストが迫った時は、急遽テスト対策に切り換えて授業をすすめることもあります。

『土曜特訓講座』では、9月～12月は、入試に出題頻度の高い1・2年生の学習範囲の演習、1～3月は私立高校受験対策と公立高校受験対策の演習を行います。また、この講座は、月3回実施します。クラスは生徒の志望校・習熟度に応じて3つに分け、1クラス5人～7人の集団授業を行います。受講費用は1ヵ月12,000円(塾外生は24,000円)(税込)となっています。

中3生は原則全員受講して下さい。

尚、兄弟姉妹が塾に在籍している生徒は、9,000円(税込)となります。

☆9月『土曜特訓講座』実施日

時間 午後1時半～5時半

5日 (英・国・社) 英はリスニング実施

12日 (数・理) ※定規・コンパス持参

26日 (英・国・社) 英はリスニング実施

※夏期特別強化授業(夏期講習)の申し込みまだの生徒はいませんか？

申し込みは期限を過ぎていますが、まだ間に合います。部活動や登校日などに応じて臨機応変にスケジュールを組み変えることができます。学びのおくれをこの夏取り返しましょう。

＜夏休みの過ごし方＞ 充実した夏休みにするために



① 計画を立てる

一日のタイムスケジュールと、夏休み全体の日程の両方を立てる。

まず、クラブ活動、塾の講習、旅行、帰郷などあらかじめ決まっている予定を予定表に書き入れること。残りの時間が、自分が自由に使える時間となる。この時間をどう使うかによって、夏休み後の成績に差が出る。

計画表にはチェック欄を作っておいて、計画を完全に達成できた日には○、まあまあできた日には△、サボってしまった日には×というふうに、毎日自己評価をつける。2 学期の成績は、この○の数に比例する。

◎ 計画的に進める方法

達成したいページ数を日数で割り、一日の勉強すべきページを決める

- ・ 1週間のうち一日は自由時間にする(うまく息抜きをすることが長続きのコツ)
- ・ 疑問点がわき、進行がとまったら、その問題は後回しにする(まずは計画を達成すること。後でその問題を考える。わからなければ塾で聞けばいい)

◎ 一日の日程の立て方

- ・ **午前中が頭の回転が一番いい時**→苦手科目をこの時間にする
- ・ 最初はざっぱに計画し(例:午前中2教科、午後3教科など)
自分にとってやりやすいようにアレンジしていく。
- ・ 睡眠は 8 時間たっぷりとり、早寝・早起きに心がける(入試当日に向け、昼間頭の回転をよくする訓練)



② 自分の弱点にポイントをしばっての勉強と、得意科目を武器にする勉強

これまで習った範囲で、自分が理解できている部分と理解できていない部分とをハッキリ整理すること。その後、自分の弱点にポイントをしばって勉強すればいい。また、自分の得意としている科目をドンドンのばし、自分の『武器』になるようにすればいい。そうすれば、**得意科目が不得意科目をカバーする理想的な形**ができあがる。



③ 夏期講習の活用法

わからない箇所はどんどん先生に質問すること。いちいち解き方を聞くというのは絶対身につかないからやめよう。まず、問題をノートに書き写し、自分のできるところまで解いてみる。そして『**わかっている部分**』と『**わかっていない部分**』とをはっきりさせてから質問するべき。

④ 国語が苦手な人は

新聞のコラムを読むこと。朝日「天声人語」読売「編集手帳」毎日「余録」など。

できることなら、これを書き写すこともいい。その際、一字一字見て書くのではなく、一文単位で覚えて書く事が大切。意味がわからなくてもいいから、とにかく忠実に書く。そして、最後におよそ 30 字~40 字でまとめるとさらにいい。

これを 40 日続けたら、すごい力になる。国語が苦手な人は、たいてい読む力がない。だから毎日読むだけでも全然違う。読む時は声を出して読もう。黙読だと余計な考えが浮かんで集中できない。

⑤ 1日の勉強時間

中3生は毎日5教科×40分は最低して欲しい。それも、ただ机に座るのではなく、集中しての40分。勉強は楽しいことよりもむしろつらく、厳しいことの方が多い。そこを辛抱強く、粘り強く頑張れば、苦手科目も乗り越えることができる。

「苦手を克服する」「苦手なことでもガマンして取り組んでいく」という体験は、心の成長にとって最も必要。

「あーあ、苦手だなー」という苦手意識が出てきた時、頑張る気力が萎えるようではダメ。

「あ、苦手なものがきた。でも頑張ろう」という前向きな気持ちを持つと、前よりも粘れるようになる。つまり苦手科目を利用して、「辛抱する能力」を高めることができる。

家庭学習の内容は、

1. 学校の宿題→盆休みまでに終わらせてしまうこと。夏休みの後半は、実力テスト対策
2. 塾の宿題と塾でできなかった問題の再学習
3. 苦手科目・苦手単元への取り組み



⑥ 急に運動をやめない

体育会系のクラブに入っていた人は、7月でクラブを引退をしようという人が多いと思うが、ハードな練習を急にやめると、脱力感が起こってかえって勉強が手につかなくなることが多い。クラブと勉強を両立していたころよりも、成績が落ちてしまったりする。

だから、一気に運動をやめてしまうことは禁物。1日に1回は軽い運動をして、体を少しずつ慣らしながら、徐々に勉強中心の生活に切り換えていくことをすすめたい。

⑦ 学習の成果はすぐには表れないこともある。あきらめずにコツコツと

最後に、夏休みの勉強の成果はすぐに出ないこともある。夏休み明けの実力テストの結果が思わしくなく、「あれだけ頑張ったのに、これだけしかとれない」と投げ出してしまふ人が例年非常に多い。

しかし、学力はそう短期で身につくものではない。皆さんは、すぐに結果を欲しがる傾向にあるが、**学力は少しずつ熟成されていくもの。**あくまでも受験に照準を合わせて、あきらめずにコツコツと勉強することが大切。

歯を食いしばって頑張れば、必ず結果は出る。また、自分が立てた計画を実行できたという感動は、自分を高めてくれる大きなエネルギーとなる。